

なごみ

平成二十五年 十月

題字 松野ふみ子

宝塚ちどりの開設九年目を迎えて

副施設長 笹尾 高弘

宝塚ちどりは、平成二十五年十月一日に、開設してから九年目を迎えました。これもすべて皆様の多大なるご支援・ご協力の賜物と心から御礼申し上げます。

これまで介護保険法等の改正により、福祉サービスのあり方が少しずつ変化してきたこともあり、当社施設がどのように変わったのかを、簡単にお伝えさせていただきます。



【特別養護老人ホーム・ショートステイ】

① 現在、施設ボランティア（団体・個人含む）様が二十二組いらっしゃいます。ボランティアに来てくださる方が増えたことは当施設にとって、大きな喜びです。

② 施設ご利用者の重度化により介護・医療面のニーズが多様化しています。

平成十七年度は平均要介護度が三・一でしたが、現在の平均要介護度は四・三です。経管栄養（胃ろう）のご利用者は平成十七年度は五名でしたが、現在は十二名になります（いずれも九月末集計）。ちなみに、開設当初からのご利用者は二十四名です。

③ ショートステイは平成十八年三月の平均利用は六十五%でしたが、平成二十四年度の平均利用率は九五・七%と地域の皆様から必要とされるサービスに成長しました。

【通所介護（デイサービス）】

サービスのご利用者が多くなったため定員数を増やしました。平成十七年度は定員数十名でしたが、現在は定員数三十名です。介護度が

軽い方から重い方までご利用されるようになり、それぞれが楽しめる催しを行うようになりました。

【訪問介護（ホームヘルプサービス）】
職員数が介護福祉士三十%以上の要件に適した特定事業所となり、生活援助のみではなく身体介護にも対応できる事業所になりました。技術面ばかりでなく、ご利用者の声を的確に聞き取る研修を行うようになりました。

【居宅介護支援事業所】

宝塚市ではゼロからの出発でしたが、特養の知名度が上がるに伴い、近隣に周知されるとともに信頼を得て担当者数も増加しています。現在の担当件数は百三十件になります。

今は、主任ケアマネジャーを含む四人のケアマネジャーを要する特定事業所となり、各地区の「地域包括支援センター」からの依頼事例も増えてきました。

「グループホーム」

① 平均要介護度の上昇

平成十七年度は平均要介護度が一・七でした。現在では、二・九に上昇していて、軽度から中度のご利用者が中心となってきています。

② 制度改正のおかげで夜勤職員の配置数が増え、夜勤帯の支援体制が手厚くなりました。

ここまで述べさせていただいた点はごく一部ですが、施設（在宅）サービスにおいて、求められるものが少しずつ変わってきていると感じています。社会保障と税の一体改革により、介護制度の今後のあり方について、連日盛んに論議されています。次年度以降、大きな法改正があるかもしれません。それに対応できる柔軟なサービス体制を作り、ご利用者と地域の皆様に必要とされるよう、努めて参ります。

これからも、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

■職員研修旅行

九月十七～十八日（第一班）、十月八～九日（第二班）で、宝塚ちどりと福寿荘の職員が合同で研修旅行に行きました。研修先での学びを報告いたします。

◇研修先での学び

今回の研修旅行では、広島県福山市にある「社会福祉法人サンフェニックス・養護老人ホーム光寿園」様を見学しました。

委員会の活動では、ご利用者も会議に参加し、意見交換を行うなどご利用者の要望を反映する体制がとられていました。例えば、食事のメニューや味つけの好みなど、実際にご利用者からの声を食事に反映しています。

施設を見学させていただいた印象は、全体的に和やかな雰囲気があり、ご利用者が安心して生活されている印象を



受けました。今回の研修を通して多くの学びがありました。職員のレベルアップを図ると共に質の高いサービス提供に努めます。（安藤）

■委員会報告

◇サービス向上委員会

九月の委員会では、グラッドグッド報告書の途中経過を報告しました。今後も継続して、他の職員の「良い点」に目を向けて、まずは委員が率先して記入していきます。なお九月に予定していたカラオケ喫茶が、諸事情により延期になっていましたが、十月二十五日（金）に開催することが決定しました。多くのご利用者に参加していただけるようにご案内していきます。また、ベッドのリモコン破損の予防策を、各ユニットから持ち寄って、施設全体の意見を集約していきます。正式に内容が決まり次第、ご報告します。（村田）



◇給食委員会

今月の委員会でもご利用者・職員からの意見を反映できるよう、食材のかたさ、切り方、温度や盛りつけ方法などの検討を行いました。

十月の行事食はデイサービスではバイキングを、ユニットでは「フレンチコース料理」または「出張天ぷら屋台」を実施します。十一月には昨年好評だった「焼きさんま大会」を予定しています。(酒井)



◇感染症委員会

今月の委員会では、九月に行った「口腔ケア研修」の報告と研修時にサンプルでいただいた歯ブラシを使

用した感想などを話し合いました。

また、今後秋から冬にかけて流行する可能性のある感染症（インフルエンザやノロウィルス）について話し合い、予防を呼びかけるポスターを作成する予定です。(酒井)

◇研修委員会

研修委員会で、中山ちどりと合同で新人研修を毎月開催しています。今月は九月二十六日に、入浴研修で



特殊浴とリフト浴の講義を行い、八名の新人職員が参加しました。

まず、移乗方法の基本を学んだ後に、実際に介護し合う体験をしました。「リフトでは足が床につかないと不安」「身体に手を添えてもらったり、声をかけてもらおうと安心する」など体験者ならではの意見が出されました。



た。新人職員にはご利用者の立場に立った介助に繋げてほしいと思います。

また、介護者が安楽であれば、ご利用者もまた安楽であることを理解し、「事故ゼロ」を目指した介助を、これからも実践していきます。今後も新人職員に、介護技術講習を実施していきたいと思います。(小田)

◇地域交流委員会

末成小学校の運動会に、ご利用者と一緒に見学に行きました。一生懸命に走る子どもたちを見て「がんばれー」や「はいわねー」等笑顔でリレーを鑑賞していました。(安藤)



■ユニット報告

◇鶴の荘・亀井荘ユニット

当ユニットでは、先月から新しい掲示ボードを設置しています。

以前はコルクボードに写真を貼って掲示していましたが、はがれやすく老朽化してきましたので、新しいボードを作成しました。

ご利用者の素敵な笑顔が多く、また花や動物などの折り紙も多く飾っていますので、職員の皆様もぜひご覧ください。今後は、ご利用者の作成したものなど色々と掲示し、ご利用者の日常の活動を伝えられるように活動していきたいです。(長濱)



◇逆瀬川・星の荘ユニット

九月三十日(日)に水餃子のレクリエーションを行いました。当日は、ご家族も五名参加されました。ご利用

者やご家族からは、「熱々で美味し
いよね〜!」皮がモチモチしていた
よ」とお言葉をいただきました。(北
辻)

◇地域交流会に参加しました

十月五日(土)宝塚第一病院主催
の地域交流会に、宝塚ちどりの地域
交流委員会のメンバーが参加しまし
た。交流会には、宝塚市内の各施設
設職員や病院の関
係者が集まり、講
演と実習を行いま
した。



冬に、流行の恐
れがあるノロウィ
ルス対応策に関し
ては、二人一組で
実習を行い、正しい知識や技術を
学びました。これから、インフルエ
ンザなど様々な感染症が流行しやす
い季節になりますので、職員一同気
を引き締め、感染症の発症を未然に
防げるように努めます。(池下)

◇介護技術講習を開催します

平成二十五年十一月二十四日、平
成二十六年三月九日に「介護技術講
習会」の開催を予定しています。

受講料は無料で、主に地域の方が
対象です。現在、ご自宅で介護され
ている方、介護に興味があり学びた
い方なら、どなたでも参加可能です。
詳細など、お気軽にお問い合わせくだ
さい。【担当・安藤・森本】

◇国家試験を目指して奮闘中

平成二十六年一月に、就労研修を
行っているインドネシア介護福祉士
候補生二名が、「介護福祉士国家試
験」を受験します。前年度の候補生
二名に続くよう、合格を目指して、
現在、「介護技術講習」を受講中です。

◇編集後記

気温も下がり、ようやく秋らしく
なってきました。夏の疲れが出てく
る頃でもあるので、体調管理に留意
し、「秋」を楽しみましょう。(池下)